

道央ひとワイド

JR夕張駅前で8店の飲食店が集う「ゆうばり屋台村」でジンギスカン店を経営する橋場英和さん(48)は



飲食店8軒集う屋台村にどうぞ

「飲食業は初めてだけど、他のお店と協力しながら頑張っています」と話す。昨年9月の開業以来、くじ引き大会などの屋台村独自の催しを中心となって企画してきた。「低料金でいろいろな料理を楽しめるのが屋台村。将来は観光客と地元の人が交流できる場所にしていきたい」。新たな夕張の観光名所として、市

「来場者が心の底から楽しめるイベントにしたい」



「イベントが何年も続くに

「福祉を必要としている人を包み込む町にしたい」と、来年度以降も活動を継続する考え。

＝当別＝

刀かじや、掛け軸製作などの表具師らでつくる職人集団「室蘭手わざ」が6月から修学旅行生を対象に、ものづくり体験事業を始める。同会代表の大沢幸一郎さん(68)は「自分の手で作る面白さや伝統技能の魅力を伝えたい」と意気込む。同集団は1990年に結成。技術を披露する作品展を中心に活動してきたが、若者が室蘭のものづくりに触れる機会を増やそうと、体験型事業に移行することを決めた。メニューは11種。メン



「鉄のマチ」ならではの体験もできる。大沢さんは1897年(明治30年)から続く表具店の4代目。「表具師

伝統技能の魅力伝えたい

「鉄のマチ」ならではの体験もできる。大沢さんは1897年(明治30年)から続く表具店の4代目。「表具師

当面は同様の事業を行う小樽のNPO法人北海道職人義塾大学校に事務を委託するが、3年後をめどに、自前での運営移行や活動拠点開設を目指す。「初年度の受け入れは千人が目標。室蘭の文化や観光の盛り上げにもつなげたいですね」

＝室蘭＝

「全国で先進的な活動をしている人が当別を評価してくれた」と話すのは、NPO法人当別町青少年活動センター「ゆうゆう24」の大原裕介所長(30)。

「福祉を必要としている人を包み込む町にしたい」と、来年度以降も活動を継続する考え。

＝当別＝

道央ひとワイド